

2026年3月27日
イオン九州株式会社



～地域との共存と地域防災強化に向けて、気象庁と連携～

店舗デジタルサイネージ活用において 「令和8年より大きく変わる防災気象情報」を市民に周知

イオン九州株式会社（代表取締役社長：中川 伊正、以下 イオン九州）は、福岡管区気象台の依頼を受け、令和8年5月より「防災気象情報の大幅な見直し」に関して、イオン九州が展開するデジタルサイネージを通じて広く市民の皆様に周知いたします。

新しい防災気象情報は、令和8年5月下旬から導入される予定で、具体的な避難行動を直感的に理解しやすくなるよう、警報や注意報等に5段階の警戒レベルを明記して提供します（例：警戒レベルごとに「何をすべきか」の明確化）。

これにより、自治体の避難情報の迅速化や、住民の主体的な避難行動が期待されます。

イオン九州は、地域や行政との共存を重要なマテリアリティのひとつとして掲げており、今回の取り組みは地域防災力の強化に寄与するものと確信しています。

弊社サイネージでは、「新しい警報と警戒レベル」、「市民が災害発生前に取るべき行動」、「キキクル（危険度分布）」など、わかりやすい情報発信を実施します。

市民の皆様が最新の防災情報を的確に受け取り、身の安全確保につなげていただけるようサポートいたします。

イオン九州は、今後も行政や地域社会と連携し、安全・安心なまちづくりに貢献するとともに、防災啓発活動を進めてまいります。

【想定サイネージ配信内容（例）】

- ◆新しい警報・注意報の種類と警戒レベルの説明◆キキクル活用の案内
- ◆気象庁公式情報サイトへの誘導◆レベルごとに取るべき行動の例

【店頭サイネージ情報】



以上